

なす からすやま

広報

No.187



Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



2021

4
April

特集 令和3年度の主な事業と予算…	2
第2回市議会定例会……………	6
聖火リレー……………	8
市職員の人事異動……………	10
市内で4人が100歳を迎える ……	13
インフォメーション……………	14
卒業式・卒園式……………	16

桜の下、新たな1歩
(3月27日、清水川せせらぎ公園)

令和3年度の 主な事業と予算

「コロナに打ち勝ち市民と共に明るい未来を描くため 市民の満足度アップ」と「財政健全化」を両立

令和3年度的那須烏山市一般会計と6つの特別会計、企業会計の予算がまとまりました。

本市は、新型コロナウイルス感染症対策や令和元年東日本台風を教訓とした防災・減災対策の強化、介護保険などの高齢者福祉や保育園関連の児童福祉に関する給付費の増加、老朽化が著しい公共施設の長寿命化や再編・統廃合など、財政負担が増していく状況にあります。

このような中で、令和3年度は、「第2次総合計画」に基づき、「市民と向き合う全員参加のまちづくりの推進」、「厳しい財政状況の立て直し」、「広域的な自治体間連携の強化」を3つの大きな柱として、本市が目指すべき将来像に向けて、課題解決のための事業展開を図ります。特に、ユネスコ無形文化遺産「烏山の山あげ行事」や「烏山城跡」、「龍門の滝」、「JR烏山線」といった地域資源を最大限活用し、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な成果を目指していきます。

また、「中長期財政計画」に基づく収支見通し、「公共施設等総合管理計画」に基づく庁舎整備を始めとする公共施設の統廃合などを一層本格化し、「選択と集中」の考え方に基づき、当初予算を編成しました。

今月号では、これから1年間、市ではどのような事業に取り組み、予算はどのように使われていくのかを紹介します。

※市議会3月定例会において、議員提案による修正案が可決され、一般会計の2事業が削除となりました。

- ・ 清水川せせらぎ公園管理費△381万7千円
- ・ 清水川せせらぎ公園整備費△3200万円

3年度の予算の特徴

安心して子育てと健康な暮らし

を支え合うまちづくり

【結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実】

新規事業としておもつやミルク



子どもたちの明るい未来のために（南那須中学校卒業式より）

などの購入に使用できる「ようこそ！なすから赤ちゃん応援券」を交付し、保護者の経済的負担軽減を図る「ようこそ！なすから赤ちゃん応援事業」やとちぎ結婚支援センターに登録する経費を助成する「若者交流補助事業」に取り組みます。また、保険適用外の不妊治療費を助成する「不妊治療助成事業」や「妊産婦健康診査・産後支援事業」を拡充します。そのほか、「つくし幼稚園」と「にこにこ保育園」を統合し、新たに認定こども園を整備する「認定こども園施設整備事業」などに継続して取り組みます。

【健康・保健・医療の充実】新規事業としてPCR検査を実施する対象者に対し助成を行い、クラスター発生などの感染拡大防止を図る「新型コロナウイルスPCR検査等助成事業」に取り組みます。また、「こどもインフルエンザ予防接種費用助成事業」を拡充し、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行の予防を図ります。

【障がい者・高齢者の福祉の充実】通院が必要な寝たきりなどの高齢者の自宅と病院間の送迎に係る運賃を支援する「通院支援事業」に継続して取り組みます。

【学校教育の充実】新規事業として全小・中学校の照明をLED化する「小学校・中学校照明LED化事業」のほか、中学校の学習指導要領全面实施に伴い教員用指導書やデジタル教科書を導入する「学習指導要領対応デジタル教科書導入事業」に取り組みます。

【生涯学習の充実】令和4年度の第77回国民体育大会において、本市がアーチェリー競技会場となることから「国体開催運営事業」を拡充し、リハーサ

ル大会の運営や本番に向けた準備と競技の普及促進に取り組めます。

【文化の振興】鳥山城跡の国指定史跡化を目指すための「文化財調査事業」、ユネスコ無形文化遺産「鳥山の山あげ行事」や山あげ道具類保存修理を支援する「ユネスコ無形文化遺産保存事業」に継続して取り組みます。

■地域資源の魅力創出と産業活力による賑わいあふれるまちづくり

【雇用の確保】地域おこし協力隊員を2名任用するための「地域おこし協力隊事業」や合同就職説明会・面接会などで地域企業への就労を促進する「雇用対策事業」に継続して取り組みます。

【農林水産業の振興】林業経営の効率化と森林経営の適正化を図る「森林経営管理制度事業」のほか、なすからブランドの農林水産物認証品を活用した商品生産、開発などを支援する「なすからブランド6次産業化推進事業」に継続して取り組みます。

【商工業の振興】事業者が取り組む販路拡大事業に係る経費について支援する「販路拡大補助事業」や市内の賑わいを創出するための商店会などの活動に対して支援する「まちなか店舗賑わい支援事業」を拡充します。また、「創業者支援補助事業」や「空き店舗対策新規出店者開業費用支援事業」を継続

し、地域経済および商業の活性化を図ります。

【観光の振興】観光協会の自律的・継続的な運営に向け、観光プロモーションの強化などを支援し、観光の活性化と誘客促進を図る「観光協会支援事業」や山あげ祭実行委員会の取り組みを支援し、山あげ祭の円滑な運営とおもてなしの充実を図る「ユネスコ無形文化遺産活用推進事業」に継続して取り組みます。

■定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり

【住環境の充実】新規事業として老朽化した駐車場の更新を行う「大桶運動

公園施設整備事業」に取り組みます。また、移住促進住宅取得奨励金や移住ファミリー家賃補助金、空き家バンク住宅改修補助金を新たに創設し、総合的な定住支援策として事業展開を図ります。

【消防・交通・防犯対策の推進】新規事業として浸水リスク想定図や土砂災害警戒区域などの見直しを反映したハザードマップを作成する「ハザードマップ更新事業」に取り組みます。また、避難所などの備蓄品拡充や自主防災組織活動の活性化を図る「災害対策事業」や「南那須地区サイレン吹鳴システム管理事業」に継続して取り組みます。

■市民と共に築く持続可能なまちづくり

【市民の地域コミュニティ強化と協働のまちづくりの推進】市のキャッチフレーズを活用したPRや市民と協働によるSNSなどの情報発信を行う「シティプロモーション事業」のほか、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の新たな視点である「関係人口」の創出実現を図る「関係人口創出事業」に継続して取り組みます。

【行財政改革の推進】公共施設総合管理計画に基づき旧南那須武道館や旧七合保育園、旧ベンチャープラザの解体事業に取り組むとともに、「公共施設等マネジメント推進事業」に継続して取り組みます。

令和3年度の主な重点事業(○は新規事業)

■安心できる子育てと健康な暮らしを支え合うまちづくり

- ようこそ！なすから赤ちゃん応援事業 379万2千円
- 若者交流補助事業 15万円
- 新型コロナウイルスPCR検査等助成事業 250万円
- ・不妊治療助成事業 198万円
- ・認定こども園施設整備事業 3500万円

■夢を持ち、夢の実現に向けて歩む力をはぐくむまちづくり

- 小学校・中学校照明LED化事業 737万6千円
- 中学校新学習指導要領対応デジタル教科書等導入事業 579万5千円

- ・国体開催運営事業 3394万2千円
- ・ユネスコ無形文化遺産保存事業 730万5千円

■地域資源の魅力創出と産業活力による賑わいあふれるまちづくり

- ・八溝そばブランド力向上支援事業 320万円
- ・販路拡大補助事業 100万円
- ・まちなか商店にぎわい支援事業 40万円
- ・ユネスコ無形文化遺産活用推進事業 500万円

■定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり

- 大桶運動公園施設整備事業 5050万円
- 移住促進住宅取得奨励事業 1600万円
- 移住ファミリー家賃補助事業 261万8千円
- 空き家バンク住宅改修補助事業 80万円
- ハザードマップ更新事業 770万円

■市民と共に築く持続可能なまちづくり

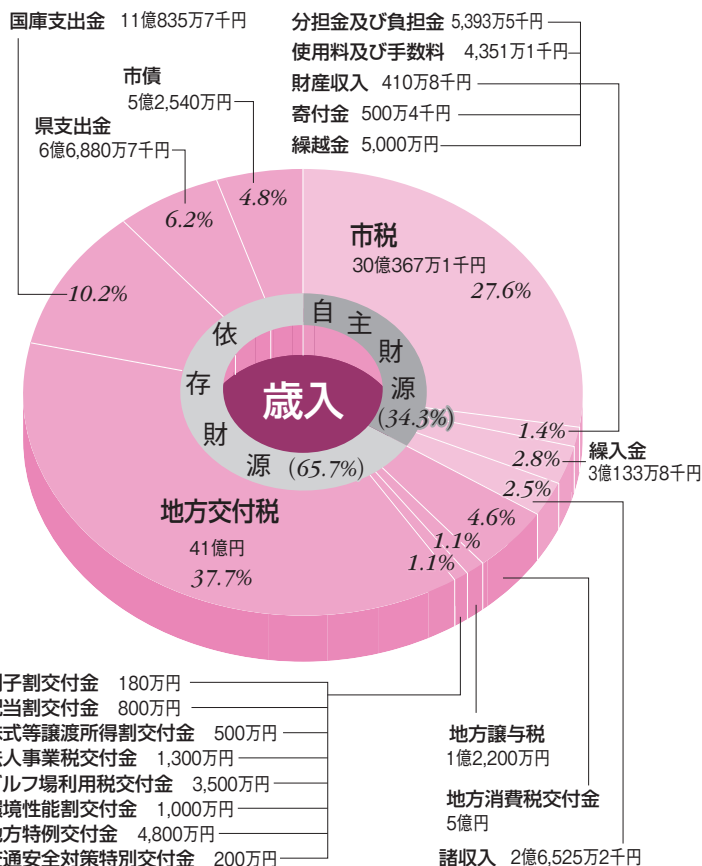
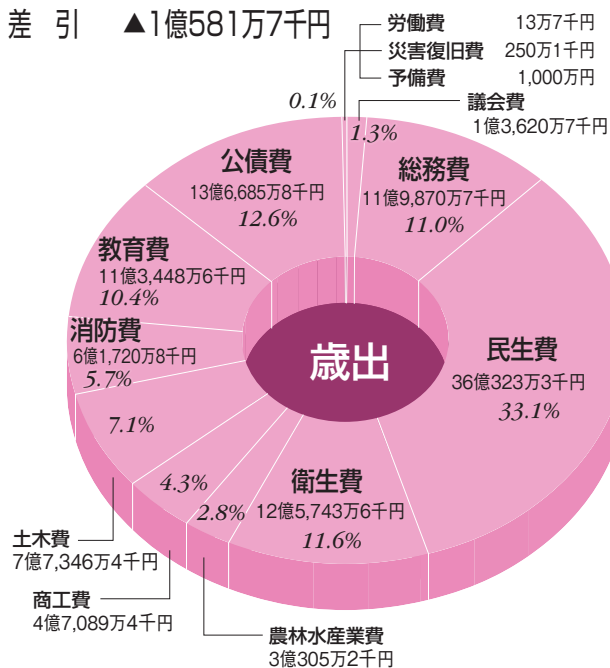
- 旧南那須武道館解体事業 4900万円
- 旧七合保育園解体事業 2600万円
- 旧ベンチャープラザ解体事業 110万円
- ・シティプロモーション事業 95万円
- ・都市農村交流事業 100万9千円

一般会計

3年度 108億7,418万3千円

前年度 109億8,000万円

差引 ▲1億581万7千円



一般会計当初予算は、第2次総合計画や第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき各種施策に取り組みため、前年度予算に比べて、1億581万7千円（1.0%）減の108億741万3千円としました。

【歳入】主なものとして、市税は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比1億232万1千円（3.9%）減の総額30億367万1千円としました。地方交付税は、合併算定替の縮減期間が終了となり、一本算定となるものの2年度実績を踏まえ、前年度同額の41億円としました。このうち普通交付税は36億円、特別交付税は5億円です。国庫支出金は、民間小規模保育事業所整備に対する保育所等整備費交付金や幼児教育・保育無償化に伴う子どものための教育・保育給付交付金の減額により前年度比921万9千300円（7.7%）減の11億835万7千円としました。県支出金は、「第77回国民体育大会に係るリハール大会運営費補助金」が増額したものの、防災重点ため池のハザードマップ作成に伴う震災対策農業水利施設整備事業費補助金の減額により前年度比601万2千300円（8.2%）減の6億688万0千7千円としました。市債は、公共施設等適正管理推進事業債の増額などにより前年

一般会計当初予算は
108億741万3千円

度比780万円（1.5%）増の5億2540万円としました。このうち合併特例債は、前年度比170万円（3.9%）増の4530万円です。臨時財政対策債は、2年度実績と国の地方財政計画を踏まえ前年度同額の3億円としました。

【歳出】主なものとして、議会費は、前年度比301万1千円（2.2%）減の1億362万7千円としました。総務費は、国勢調査費や選挙費の減額などにより前年度比249万2千200円（2.0%）減の11億987万7千円としました。民生費は、民間小規模保育事業所整備に対する補助金や児童手当給付費の減額により前年度比544万5千100円（1.5%）減の36億323万3千円としました。衛生費は、水道事業会計繰出金や南那須地区広域行政事務組合塵芥処理費負担金の減額などにより前年度比137万1千700円（1.1%）減の12億574万3千600円としました。農林水産業費は、地籍調査事業費が増額したもの、市単独土地改良事業費の減額により前年度比64万1千600円（2.1%）減の3億305万2千円としました。商工費は、企業誘致事業費の減額などにより前年度比45万3千400円（8.8%）減の4億708万9千400円としました。土木費は、大桶運動公園施設整備費の増額などにより前年度比53万1千300円（7.4%）増の7億734万4千円としました。消防費は、消防水利施設整備費が増額したものの、

市民1人・1世帯あたりに使われる予算

○人 □ 25,567人
○世帯数 10,439戸
(令和3年1月1日現在の住民基本台帳人口)

一般会計 108億7,418万3千円 42万5,321円/人 104万1,688円/世帯 	議会費 1億3,620万7千円 5,328円/人 1万3,048円/世帯  議会運営のために	総務費 11億9,870万7千円 4万6,885円/人 11万4,830円/世帯  市のさまざまな 総合運営のために	民生費 36億323万3千円 14万 933円/人 34万5,170円/世帯  市民の福祉のために	衛生費 12億5,743万6千円 4万9,182円/人 12万 455円/世帯  健康診断・予防接種、 ごみの回収処理のために	農林水産業費 3億305万2千円 1万1,853円/人 2万9,031円/世帯  農業振興、 農地保全のために
商工費 4億7,089万4千円 1万8,418円/人 4万5,109円/世帯  商工業の育成・観光 事業の推進のために	土木費 7億7,346万4千円 3万 252円/人 7万4,094円/世帯  市道整備・公園・下水道 管理などのために	消防費 6億1,720万8千円 2万4,141円/人 5万9,125円/世帯  消防活動のために	教育費 11億3,448万6千円 4万4,373円/人 10万8,678円/世帯  義務教育・生涯学習の推進・ スポーツ振興のために	公債費 13億6,685万8千円 5万3,462円/人 13万 938円/世帯  市の借入金の 返済のために	その他 1,263万8千円 494円/人 1,210円/世帯  労働費・予備費など

特別会計

■国民健康保険(事業勘定) 3年度 33億2,683万7千円 前年度 34億8,025万7千円	■介護保険 3年度 28億4,302万9千円 前年度 27億6,496万3千円
■国民健康保険(診療施設勘定) 3年度 5,412万6千円 前年度 4,942万円	■農業集落排水事業 3年度 6,310万円 前年度 6,170万円
■熊田診療所 3年度 4,752万7千円 前年度 4,760万円	■下水道事業 3年度 3億3,400万円 前年度 3億8,100万円
■後期高齢者医療 3年度 3億6,147万3千円 前年度 3億6,959万3千円	

企業会計

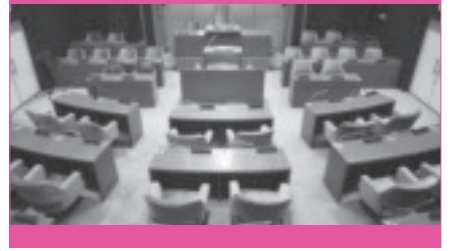
■水道事業 □収益的収入 3年度 6億1,710万8千円 前年度 6億4,207万円 □収益的支出 3年度 5億511万9千円 前年度 5億4,803万円	□資本的収入 3年度 1億2,547万7千円 前年度 2億5,641万3千円 □資本的支出 3年度 4億5,783万1千円 前年度 6億2,726万円
--	--

特別会計は前年度と比べると、国民健康保険の事業勘定の歳入・歳出は、4・4%減の33億2,683万7千円、診療施設勘定は9・5%増の5,412万6千円としました。熊田診療所は0・2%減の4,752万7千円、後期高齢者医療は2・2%減の3億6,147万3千円、介護保険は2・8%増の28億4,302万9千円、農業集落排水事業は2・3%増の6,310万円、下水道事業は12・3%減の3億3,400万円としました。

企業会計の水道事業は、前年度と比べて、収益的収入を3・9%減の6億1,710万8千円、収益的支出を7・8%減の5億5,111万9千円としました。また、投資的経費である資本的収入は51・1%減の1億2,547万7千円、資本的支出は27・0%減の4億5,783万1千円としました。資本的収支の大幅な減額は、令和元年東日本台風による復旧費の減などによるものです。

特別会計・企業会計

防災情報伝達システムの事業費の減額により前年度比398万6千円(6・1%)減の6億1,720万8千円としました。教育費は、荒川体育館解体費が減額したものの旧南那須武道館解体費の増額などにより前年度比220万5千円(0・2%)増の11億3,448万6千円としました。



新旧年度の予算を審議

3年度一般会計予算は108億7418万3千円に

令和3年第2回市議会3月定例会が3月2日(火)から16日(火)まで15日間の日程で開かれ、3年度の一般会計を除く当初予算、2年度補正予算、条例の一部改正、人事案など28議案を原案どおり可決しました。3年度一般会計予算は、一部修正のうえ可決。また、議員発議により会議規則の一部を改正し、陳情書1件を採択したうえ、意見書1件を提出しました。そのほか、議会に防災対策調査特別委員会を設置しました。詳しくは、議会事務局 ☎ 0287-8817114 までお問い合わせください。

合併後初めて、議案の修正動議が可決されました。修正動議とは、議員が必要に応じて議案を修正することです。今回は、3年度一般会計当初予算のうち、「清水川せせらぎ公園施設整備」に関連する計358万1千7百円を減額し、108億7418万3千円とする修正動議が賛成多数で可決しました。

3年度当初予算

3年度の一般会計と6つの特別会計および企業会計の当初予算が決まりました。詳しくは、2〜5ページをご覧ください。

2年度予算は8会計を補正

2年度一般会計は、歳入・歳出をそれぞれ954万1千円追加し、補正後の予算総額を151億222万9千円としました。

歳出の主な内容は、総務費として財政調整基金積立金7千万円、市有施設整備基金積立金5千万円、庁舎整備基金積立金1億円、ふるさと応援基金積立金を612万5千円増額しました。民生費は、介護保険特別会計繰出金614万5千円、認定こども園などに対する負担金511万2千円を増額しました。衛生費は、高齢者予防接種事業費377万4千円、新型コロナウイルスワクチン接種の予約体制や会場設営などの準備に746万9千円を増額しました。農

林水産事業費は、農業用ため池の機能診断と機能保全計画のため団体営土地改良事業費950万9千4百円を増額しました。商工費は、感染防止営業時間短縮協力を新たに計上する一方、感染症対策事業継続応援金など各種事業の精算により、917万4千9百円の減額となりました。土木費は、道路の補修や支障木対応などのため500万円を増額し、辺道路路整備事業費760万円を減額しました。急傾斜地崩壊対策事業費は、国の追加配分に伴い660万円増額しました。消防費は、消防水利管理費および消防水利施設整備費として157万9千円増額しました。教育費は、大型液晶ディスプレイなどの整備のため教育情報ネットワーク整備事業費592万4千円、各小・中学校の運営費914万円を増額しました。

災害復旧費は、令和元年東日本台風で被災した農地・農業用施設災害復旧事業費628万1千8百円を増額し、公共土木災害復旧事業費は関連事業の精算により185万1千

5千円を減額しました。公債費は、借り入れ条件変更により648万円を減額しました。

歳入は、市税について徴収状況を勘案して固定資産税現年課税分2500万円を増額、額の確定に伴い普通交付税1億825万3千円を増額しました。また、国・県支出金のうち新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金676万円、農地農業用施設災害復旧事業費補助金6390万円などを増額しました。

特別会計は、国民健康保険の事業勘定を1億8870万8千円減額し、32億9372万7千円とし、診療施設勘定は91万3千円減額し、4871万5千円としました。

熊田診療所は103万4千円減額して465万6千円に、後期高齢者医療は376万6千円減額して3億665万5千3百円としました。また、介護保険は8470万円増額して28億766万4千5百円に、農業集落排水事業は48万4千円減額して6255万

11条例を改正

・小・中学校の学校評議員制度を学校運営協議会制度に変更するため、「非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例」の一部を改正しました。

・公共工事の施工に伴う行政財産使用料を定めるため、「行政財産使用料条例」の一部を改正しました。

・延滞金などの特例規定が改正されたことに伴い、関係する「市税条例」、「市債権管

理条例」、「市後期高齢者医療に関する条例」、「市公共下水道事業受益者負担条例」を一部改正しました。

・介護保険料率の改定などにより、「市介護保険条例」を一部改正しました。

・国の基準の改正に伴い、「市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例」、「市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例」、「市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例」、「市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例」を一部改正しました。

・すすく保育園、烏山南公民館、野上体育館の住所変更に伴い、「市立保育所の設置及び管理並びに保育の実施に関する条例」、「市公民館設置、管理及び使用料条例」、「市運動施設設置、管理及び使用料条例」を一部改正しました。

・道路構造令の一部改正に伴い、「市道の構造の技術的基準及び道路標識の寸法に関する条例」を一部改正しました。

・議員発議により「議会会議規則」を改正しました。主な内容は、会議欠席の理由を明確にするとともに、産前・産後期間に配慮したものです。また、請願書の署名押印を署名または記名押印に改めました。

教育長、各委員の人事

・令和3年3月31日で任期満了を迎える田代和義教育長を、引き続き任命することとしました。

・令和3年3月31日で任期満了を迎える瀧田晴夫監査委員を、引き続き任命することとしました。

・令和3年5月21日で任期満了を迎える農業委員に、川上恵氏、堀江恒夫氏、久郷義美氏、仲澤清一氏、越雲宏氏、塩野目富夫氏、小川祥一氏、小川雄三氏、大野寛文氏、関閣夫氏、荒井喜代子氏、田中雄二氏、相吉澤宏氏、興野礼子氏、黒須明氏、石岡幸雄氏、齋藤勉氏、奥畑智子氏、栗野隆夫氏の19人を任命することとしました。

議会人事

・議員発議により「防災対策調査特別委員会」を設置することとしました。委員は、全議員17名で委員長に平塚英教氏、副委員長に堀江清一氏を選出しました。特別委員会では、自然災害が多発する中、市民の生命、財産を守るため、防災・減災対策について調査・研究することとしています。

その他

・市議会議長あてに提出された「市道鴻野山小倉線の道路改良工事について」の陳情を採択しました。

・甚大な被害をもたらす災害が懸念される中、「防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書」を関係大臣などあて提出することとしました。

那須烏山市教育委員会会報

2年度『第3四半期』10月～12月

第10回教育委員会（10月23日）

- 就学指定校の変更を承認
- 区域外就学の許可を承認
- 令和3年度小学校、中学校及び義務教育学校職員定期異動方針を決定
- 小・中学校校内LAN再構築工事を決定
- 小・中学校学習用端末購入を決定

第11回教育委員会（11月20日）

- 就学指定校の変更を承認
- 準要保護児童生徒の認定を承認
- 令和2年度那須烏山市一般会計（教育費関係）補正予算（第5号）を決定

第12回教育委員会臨時会（11月30日）

- 那須烏山市教育委員会教育長職務代理者（網野甚一氏）の指名を決定
- 第13回教育委員会（12月25日）
 - 区域外就学の許可を承認
 - 那須烏山市立小中学校の修学旅行等に係る新型コロナウイルスによる追加経費等補助金交付要綱の制定を決定
 - 那須烏山市青少年野外活動広場管理規則の廃止を決定
- ▼その他の出席
 - ・10月2日（金）：塩谷南那須地区教育委員会連合会定例会・研修会
 - ・11月5日（木）：栃木県市町村教育委員会連合会総会・研修会

烏山高の生徒が 議場でコンサート♪

市議会では、市民に親しまれる議会を目指し、3月4日（木）、定例会の開会前に議場コンサートを開きました。

コンサートには、烏山高吹奏楽部で2年の木村日向さん、澤村綾菜さん、塩田楓華さん、1年の江口翔人さん、西村美祐さん、池尻蒼太さん、大貫那々佳さん、小室美結さんの8人が出演。市執行部や市議会議員、市民など50人あまりが見守る中、生徒たちは、クラリネット五重奏で「波影」を、サクソフォン三重奏で「サクソフォン三重奏曲『プリムラ』」を披露し、議場内に美しい音色を奏でました。

演奏をした澤村さんは、「緊張したが、楽しく演奏することができ、良い経験になった」と笑顔で話しました。



議場で演奏する烏山高の生徒

雨の中11人が 希望の火をつなぐ



聖火リレーって？

聖火は、ギリシャ・オリンピックアで採火される火のことです。聖火リレーは、ギリシャ国内とオリンピック開催国内でランナーのリレーによってオリンピック開会式までつなげるもので、平和や希望の象徴ともいえます。日本で聖火リレーが行われるのは、東京1964オリンピック以来57年ぶり。今回の聖火リレーは、新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期しての開催となりました。

本市の聖火リレーがスタート

3月25日(木)に福島県から始まった聖火リレーは、28日(日)に、本県の足利市をスタート。その後、佐野市、小山市、茂木町、栃木市、上三川町、真岡市の後再び上三川町を走り、本県1日目のゴール地点となる本市に到着しました。

午後7時35分に烏山高校前をスタートした聖火リレーは、那須南病院から市役所烏山庁舎前を通過し、山あげ会館に到着。設置された舞台上では、104歳で現役理容師の箱石ツイさん(那珂川町)から、菊池正一さん(小倉)のトーチへ聖火が灯されました。その後、ゴールのJR烏山駅前で聖火がつながれ、本市では、11人の聖火ランナーが約2.1kmの道のりを走り抜きました。

当日は、感染症対策のため、観客に密集の回避が呼びかけられ、観客は声援の代わりに、大きな拍手で聖火ランナーにエールを送りました。

聖火祝うイベント華やかに

当日は、聖火リレーに合わせて、聖火の到着を祝うイベントが催されました。「ミニセレブレーション」会場の山あげ会館前では、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「烏山の山あげ行事」の舞台装置が展示され、鍛冶町若衆団により山が上げられると、会場からは拍手がわき上がりました。



7



4



10



8



5



9



6

①山を背景に聖火がつながれる、②⑦聖火がJR烏山駅に、③⑥ステージでのパフォーマンス、④聖火が那須烏山路を巡る、⑥お囃子が聖火リレーを盛り上げる、⑧桜の山がランナーを迎える、⑨ランナーの皆さん、⑩人力で大山を上げる

ついゴール地点へ

本県1日目のゴール地点となったJR烏山駅前多目的広場では、「セレブレーション」が行われ、オープニングプログラムとして烏山山あげ保存会芸能部会が「こども歌舞伎」を上演しました。演目は「将門」で、子どもたちの迫力ある演技で観客を魅了しました。そのほか、ダンスパフォーマンスも行われ、聖火の到着まで会場を盛り上げました。

観客が見守る中、午後8時過ぎに聖火が無事ゴール地点のJR烏山駅前に到着しました。本市の最終ランナーとなったのは、那須塩原市出身で2008年北京オリンピックに出場した渋谷陽子さん。大勢の観客に拍手で迎えられ、笑顔でゴールしました。

到着セレモニーでは、渋谷さんが舞台上でトーチの火を聖火皿に点火しました。到着直後のインタビューで渋谷さんは、「無事に到着できて安心した」と笑顔で話していました。舞台上では、県実行委員会を代表して北村一郎副知事が挨拶しました。そのほか、佐藤良県議会副議長、川俣純子市長、久保居光一郎市議会議長も登壇し、聖火の到着を祝いました。

天候には恵まれなかったものの、本市での聖火リレーは成功のうちに幕を閉じました。本県では、2日間で総勢191人のランナーが聖火をつなぎ、次の群馬県に無事、聖火を引き継ぎました。

県実行委員会から聖火ランナーに選出され、本市8番目のランナーとなった菊池正一さんは、聖火リレー終了後のインタビューで、「当日まで本当に開催できるのか不安に思っていたが、無事開催でき、次のランナーに聖火を渡せて安心した。自分自身高齢だが、生涯現役で頑張りたい」と笑顔で話していました。

聖火は、121日間（移動日含む）をかけて日本全国を巡り、7月23日（金）に最終ゴール地点の東京都に到着する予定です。



新型コロナウイルス感染症

接種に向け

ワクチン準備本格化

ワクチン供給始まる

県は、3月5日(金)、高齢者向けワクチンを高齢者人口が最多の宇都宮市へ4月5日～11日の週に約1千人分を配分し、12日～18日は足利、栃木、佐野、小山、那須塩原の5市、19日～25日は、宇都宮、鹿沼、真岡、さくら、那須烏山の5市へそれぞれ1千人分ずつ割り当てることを発表しました。また、県内全域でワクチンの副反応に対

応する専門的医療機関を確保する方針を表明しました。

ワクチン接種準備着々と

市では、南那須医師会などの協力のもと、ワクチン接種に向け準備を進めています。ワクチンの接種対象は16歳以上の人で、原則、住民票のある市町村で接種します。接種は無料で、完全予約制です。重症リスクの高い65歳以上の高齢者(昭和32年4月1日以前に生まれた人)、

基礎疾患を有する人などの順に、段階的にを行います。

市では、現在、医療従事者などを対象としたワクチン接種を実施しており、高齢者への接種は、5月8日(土)から開始する予定です。(ワクチン供給状況により、変更となる可能性があります)

ワクチン接種の会場は、那須南病院と市武道館としていますが、会場の広さの関係から市武道館を

中心に行う予定です。3月17日(木)に那須南病院で、30日(火)には市武道館で、市職員などによるワクチン接種の訓練を行いました。

ワクチン接種の流れ

- ①クーポン券(接種券)を受け取る。
- ②予約する。(当面の間、電話のみの予約となります)
- ③接種に必要な書類(予約票など)が届く。
- ④クーポン券(接種券)・予約票・身分証明書を持参し、予約した日時・会場で接種する。

65歳以上の人には、3月30日(火)にクーポン券(接種券)を発送しました。その他の人には、5月中旬以降に発送します。

ワクチン接種に関する情報は、広報紙や市ホームページでお知らせしますが、ワクチンの配給状況などにより変更になることがありますので、ご理解ご協力をお願いします。ワクチンや副反応など専門的なことについては、国の相談窓口 ☎ 0120-761177 または栃木県の相談窓口 ☎ 0570-0521092、接種の予約や相談については、市のワクチン予約・相談センター ☎ 0570-0711711 にお問い合わせください。

■問合 市新型コロナウイルスワクチン接種対策室 ☎ 0287-8217535

市職員の 人事異動

4月1日付けで、市職員の人事異動がありましたのでお知らせします。

職員数は、3年度新採用による増や再任用職員の確保などにより、245人(ほか短時間勤務2人)となりました。

◎Ⅱ昇任、新Ⅱ新採用、新・任Ⅱ新採用・任期付職員、(一)内Ⅱ異動前の課、課内の並びは順不同となります。

■総合政策課

◎参事兼総合政策課長 菊池義夫(生涯学習課長兼

◎主任 渡邊貴也

◎主事兼矢板原税事務所派遣 越雲悠琢

◆すくすく保育園

◎保育士副主幹(副園長) 黒崎明子(つくし幼稚園)

◎保育士主査 室井優紀

◆こここ保育園

◎保育士副主幹(副園長) 五味洸万里(すくすく保育園)

◎保育士主査 小口しおり

◎業務員 雲洋子

◆つくし幼稚園

◎教諭副主幹(副園長) 大森弥生(こここ保育園)

◎教諭主査 上野祐子

■農政課

◎農政課長 深澤宏志

◎農業振興G主幹(総括) 久保居文子(こども課)

◎農林整備G課長補佐(総括) 滝口隆行(都市建設課)

◎課長補佐兼指導主事 高橋やす子

◎学校給食G課長補佐(総括) 五味洸徹(総合政策課)

副主事 伊藤富美

◆江川小学校

◎業務員 菱沼幸弘

◆荒川小学校

◎業務員 山田幸夫

◆烏山中学校

◎司書係長 中山美智代

◎業務員 阿久津光一

■生涯学習課

◎生涯学習課長 水上和明(福祉事務所長兼健康福祉課長)

◎公民館G主幹(総括) 安藤達一(こども課)

◎主幹兼スポーツ振興室長 荒井隆郎(都市建設課)

入スポーツ振興室長)

○秘書政策G主幹(総括) 関雅人(商工観光課)

○広報広聴G課長補佐(総括) 大貫ちはる(学校教育課)

○情報統計G課長補佐(総括) 小林重信(市民課)

○財政G課長補佐(総括) 石川昌幸(生涯学習課)

○係長 小堀久美(市民課)

○主査 谷口寛明(上下水道課)

○専門員 石川浩

○主任 石井勇多

○主事 堤元樹

■まちづくり課

○定住推進G課長補佐(総括) 尾崎さゆり

○課長補佐 塩野目庸子(市民課)

○主査 大橋知歩

○専門員 小林貞大

○主任 玉造結衣(総合政策課)

○主任 澤村春佳

■総務課

○人事G主幹(総括) 平山茂樹(総合政策課)

○契約管財G主幹(総括) 石嶋賢一(南那須地区広域行政事務組合―総務課付主幹)

○係長 小室貴紀(都市建設課)

○主査 矢野慎也

○主査 小堀佑真(栃木県総合政策都市町村課―総務課付主任)

○主査 伊藤大道

○主査 平野和隆

○専門員 福田守

○主事 増子莉紗(議会事務局)

○主事 直井拓弥(税務課)

■税務課

○徴収対策G課長補佐(総括) 星宮二郎(課長補佐兼矢板県税事務所派遣)

○資産税G主幹(総括) 木曾賢治

○係長 佐藤剛(健康福祉課)

○主査 大島佳純(総合政策課)

○主査 手塚幹(上下水道課)

○主事 岡山千夏(総合政策課)

○主事 石川暢之

■市民課

○市民課長 大谷啓夫(議会事務局)

○市民窓口G課長補佐(総括) 東原一吉(税務課)

○主査 藤井梨恵

○専門員 神野久志

○主任 松岡仁美

○主事 鈴木由乃(生涯学習課)

■健康福祉課

○福祉事務所長兼健康福祉課長 皆川康代(市民課長)

○生活福祉G主幹(総括) 塩野目敬章

○介護保険G課長補佐(総括) 福田祥子(会計課)

○健康増進G保健師副主幹(総括) 仲山直美

○課長補佐 塩野育雄

○係長 田澤浩美(税務課)

○係長 湯澤美由紀(生涯学習課)

○社会福祉士係長 堀江崇

○主査 水井健太(栃木県保健福祉部障害福祉課―健康福祉課付主任)

○主査 瀧澤理恵

○主査 川俣綾子

○主任 小島悠樹

○保健師主任 網野純子(こども課)

○管理栄養士主任 大久保明喜(こども課)

○主任 高田千紘

○主任 川俣有加

■こども課

○こども支援G主幹(総括) 黒尾明美(総務課)

○こども館G課長補佐(総括) 益子ゆかり

○母子保健G保健師主幹(総括) 星田美子(健康福祉課)

○保育G主幹(総括) 塩野目豊一(総合政策課)

○課長補佐 小原沢直子(上下水道課)

○保健師副主幹 茂木真理

○管理栄養士主査 高野麻美(健康福祉課)

○保健師主任 星あづみ

○主事 平野愛純

○課長補佐 篠崎孝光

○係長 齊藤奈緒

○主査(栃木県総合政策都市町村課付) 橋本尚紀(栃木県保健福祉部保健福祉課保健環境センター主任)

○専門員 糸井美智子

■商工観光課

○観光振興G主幹(総括) 高野成彰(総合政策課)

○主査 田嶋勇介

○主事 田代真尋

■都市建設課

○管理G主幹(総括) 永島一広(農政課)

○課長補佐 川俣由利子

○課長補佐 滝沢一平

○主査 平野祐太郎(総務課)

○主査 高橋昌弘

○主査 小口大輔

■生涯学習課

○生涯学習技術専門員 猪股敏博

○専門員 小田倉浩

○主任 清水晴希(栃木県県土整備部烏山土木事務所―都市建設課付主任)

■上下水道課

○下水道G主幹(総括) 大貫信行(学校教育課)

○係長 川島広明(税務課)

○主査 塩野淳(税務課)

○専門員 奥澤隆夫

○主事 和氣友咲(会計課)

■会計課

○会計G主幹(総括) 井上剛(まちづくり課)

○専門員 滝田勝幸

○主任 谷口絢香(商工観光課)

■議会事務局

○議会事務局局長 菊地唯一(総務課)

○主事 菅谷利子(総務課)

■学校教育課

○学校教育課長 大鐘智夫(農政課長)

○総務教育G主幹(総括) 森林浩之

○課長補佐(総括) 兼管理主事兼指導主事 菊地新一郎

○スポーツ振興G課長補佐(総括) 草分信也(健康福祉課)

○課長補佐 江守浩史

○係長 石塚尚美

○係長 中島美由紀(まちづくり課)

○学芸員係長 鈴木芳英

○専門員 水沼透

○学芸員主任 石下翔子

○主任 高瀬涼子

○主事 滝口恭弘

■派遣職員

○南那須地区広域行政事務組合―総務課付課長 小口正一(こども課)

○南那須地区広域行政事務組合―総務課付課長 岡誠

○栃木県総合政策都市町村課―総務課付主任 峰岸翔太(健康福祉課)

○栃木県県民生活部県民文化課―生涯学習課付主任 山田佳苗(生涯学習課)

○栃木県県土整備部烏山土木事務所―都市建設課付主査 菊地唯之(総務課)

○栃木県後期高齢者医療広域連合―市民課付主査 大塚勇人

■退職職員

○参事兼総合政策課長 石川浩

○参事兼学校教育課長 神野久志

○こども課保健師副主幹(総括) 大橋弘代

○こども課主幹(総括) 渡辺喜代子

○こども課専門員 岩附利克

○農政課専門員 粕谷一男

○上下水道課専門員 柳田啓之

○生涯学習課専門員 佐藤新一

○市民課専門員(短時間勤務) 荻野健一(県交流終了)

○健康福祉課主任 荻野健一(県交流終了)

○学校教育指導支援グループ主幹(総括) 兼管理主事兼指導主事 大金仁

ロータリークラブ・交通安全協会

子どもの安全を守るグッズを寄贈

■鳥山ロータリークラブ

鳥山ロータリークラブでは、市内5つの小学校に入学する新1年生140人に黄色いランドセルカバーを寄贈しました。

3月9日㈫に、市役所南那須庁舎で行われたランドセルカバー贈呈式では、同クラブの会員らが田代和義教育長らに「ランドセルカバー」を手渡しました。

ランドセルカバーは、市教育委員会を通じて各小学校に配布されます。

この活動は、43年前から続いており、現在までに1万2992人の子どもたちにランドセルカバーが贈られ、小学生の安心・安全のため役立てられています。

■那須鳥山交通安全協会

市と那須鳥山交通安全協会(大野正夫会長)では、交通事故から子どもを守るため、市教育委員会に反射タスキ175本および下敷きと定規149セットを送りました。

3月11日㈫に市役所南那須庁舎で行われた贈呈式では、大野会長と川俣純子市長が田代和義教育長にタスキなどを手渡しました。タスキは中学1年生に、下敷きと定規は小学1年生に配布されます。

大野会長は、「中学生にタスキを身に付けてもらい、交通事故のないように3年間過ごしてほしい。小学1年生は、下敷きと定規を使って保護者と一緒に交通安全を学んでほしい」と話していました。



上:ランドセルカバーを手渡す鳥山ロータリークラブの皆さん(左側)
下:田代教育長にタスキを手渡す大野会長(左)と川俣市長(中央)



野菜たっぷりのキッシュを作る参加者

女性のための健康講座 ヨガと料理で身体を整える

市では、3月6日㈫に保健福祉センターで、「女性のための健康講座」からだが喜ぶヘルシーキッシュ」を開きました。

これは、女性が食事や身体を見直し、健康に生活が送れるように開いたもの。当日は、市民6人がsea*mommyパン教室主宰の神永美智子さんを講師に豆乳を使った野菜たっぷりのキッシュづくりを行いました。

参加した大橋尚子さん(旭2丁目)は、「キッシュが好きで、自分でも作ってみたいと思い参加した。女

市と倫理法人会が 家庭の大切さ広める協定締結

市と(二社)倫理研究所栃木県高根沢さくら倫理法人会(仲澤佳子会長は、3月25日㈫、市役所鳥山庁舎で「家庭の日の普及啓発に関する協定」を締結しました。

この協定は、市と倫理法人会が協力しながら子育てにおける家庭の役割の大切さを周知し、「家庭の日」の普及を目指すというものである。県は、家庭の大切さを考えるきっかけとするため、毎月第3日

曜日を家庭の日と定めています。

協定では、「従業員に対し、家庭の日及びその趣旨について周知を図ること」、「定期的にノー残業デーを行い、従業員の家族団らんのきっかけづくりを行うこと」などが掲げられています。

仲澤会長は、「子どもとの大切な時間を作るように、家庭の日の推進にさらに力を入れたい」と今後の活動に意欲を見せました。



協定を締結した川俣市長と倫理法人会の皆さん

性にとって嬉しい栄養も入っているながら、カロリーも金額も抑えられて簡単にできるのはすごいと思った。簡単に作れてアレンジも教えてもらったので、家でもまた作りたい」と話していました。

また、5日㈫に予定していた「骨盤コンディショニングヨガ」は、中止となりましたが、4月30日㈫まで動画配信を行っています。詳しくは、市ホームページをご確認ください。

■問合せ 健康福祉課 ☎0287-8817115

ご長寿おめでとうございます！

市内の4人が100回目の誕生日

相吉澤アサさん（熊田）が、3月

2日(火)に、二片芳男さん（上川井）と小口トキさん（興野）が10日(木)に、高雄市郎さん（志島）が20日(土)に満100歳を迎えました。

現在、市内の介護施設で過ごしている相吉澤さん。人と話すことが大好きで、毎日お友達と昔話を花を咲かせています。

6日(土)には、息子さん夫妻がお祝いに駆け付け、花束やひ孫さんからの手紙を手渡しました。職員が手紙を読むと嬉しそうに笑顔を見せました。

長寿の秘訣を聞くと、「何でもよく食べて、普通でいること」と話していました。



相吉澤さん

二片さんは、温泉巡りが趣味だったそうで、以前は毎日のように温泉に行っていたとか。また、ゲートボールにもよく参加してい

たそうです。

病院に行っても、悪いところがなく、とても健康な二片さん。最近、市内介護施設に通い、ぬり絵やちぎり絵をして過ごしているそうです。

当日は、施設の職員や家族がお祝いに駆け付け、長生きの秘訣を聞くと、「のんきにしていること」と笑顔をみせました。



二片さん

食欲があり、何でもよく食べるという小口さん。特に甘いものが大好きだそうで、当日は、入所している市内介護施設で、職員や家族に囲まれケーキでお祝いが行われました。

最近、天気の良い日には日向ぼっこをして過ごしているそうです。また、歌を聞くことも大好きだとか。

いつも農作業をしていたことや

好き嫌いせず何でも食べることが長生きの秘訣だそうです。



小口さん

高雄さんは、日中戦争の中で、日本軍が行ったインド侵攻作戦「インパール作戦」に参加し、作戦での経験や戦争の悲惨さを、研究を行う学生や、テレビ・新聞などの各メディアを使い、現在も伝え続けています。

「100歳までよく生きていたと思う。戦争で、仲間の8割を失った。今の日本は、戦争が無くとても平和で幸せ」と高雄さん。長生きの秘訣は、「何でも食べて、くよくよしないこと」と笑顔をみせました。



高雄さん

那須烏山ジオパーク構想だより ④

～見どころ紹介～

藤田地域・朝風の特長地形

藤田地域の朝風には、この地域の集落を取り囲むように水田が広がっています。このような場所には水田がある理由として、「川廻し」が考えられます。

「川廻し」とは、曲がりくねった川を人の手を加えて短縮し、元の川の跡（旧流路部）に新田等をつくるものです。おもに千葉

県の房総地方などで江戸・明治期に頻繁に行われていたようで、本地域は、現時点では「川廻し」

とする確証はありませんが、滑らかなカーブを描く崖と水田から、「かつてはここに荒川が流れていたのでは!？」という想像が広がります。

また、川廻し以外にも、河岸（段丘）と急崖（段丘崖）から成る階段状の地形が見られるなど、朝風にはこの地域特有の河川地形があり、那須烏山ジオパーク構想の見どころの1つとなっている「川（水）が作った地形」を色濃く残しています。

かつて荒川が流れていたであろう経路（現在は水田）



朝風の川廻しのような地形（国土地理院地図を一部加工して掲載）



おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者)住所

渡邊碧斗(維也綾佳)鴻野山

渡邊秋介(佳典順子)八ヶ代

金原結陽(弘・豊理)宮原

佐藤唯萌(涉啓・晴香)下川井

藤澤志穂(大輔・奈美)志鳥

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

ご寄付ありがとうございます★

■ふるさと応援寄附金

山下幸一様(埼玉県さいたま市)から5千円、匿名希望者様25人から43万9千円が本市に寄附されました。



ぽかぽか陽気に笑顔ほころぶ

なすから特派員写真展

市では、シティプロモーション推進のため、3月15日(木)から29日(木)までの間、山あげ会館内の「山あげコンズ」と市ホームページで「なすから特派員写真展」を開催しました。

「なすから特派員」とは、市民などから選任された7人の特派員が、自身のSNS(主にInstagram)を活用し、市での暮らしを中心とした魅力を発信するもので、昨年度から活動をスタートしました。

写真展では、同特派員が投稿した写真に加え、第1回・第2回の「なすからフォトキャンペーン」受賞作品も展示しました。



山あげコンズで行われた写真の展示

遺跡内で「炭化米」を探す参加者たち



「炭化米」で歴史に触れる

市教育委員会では、国史跡の長者ヶ平官衙遺跡(つげたり)附 東山道跡の周知などを目的に、3月13日(木)、長者ヶ平官衙遺跡で「炭化米を探そう!」を開きました。

当日は、雨が降る中の開催となりましたが、市生涯学習課学芸員が遺跡にまつわる歴史を解説したほか、民話「長者ヶ平」を披露しました。その後、発掘調査により出土し、現在も見ることができる「炭化米」を参加者自身で採取し、観察しました。

参加した富澤博さん(月次)は、「炭化米を見つけるのは難しかったが、楽しかった。今後もイベントに参加したい」と話していました。

編集後記



★

★

★

○新年度がスタートしました!この時期お馴染みの人事異動ですが、広報広聴グループにも動きがあり、5年在籍したTさんと4年在籍したOさんが異動に。広報の仕事についてたくさん教えてくださった2人が離れてしまうのはとても寂しいですが、異動先の課でも頑張ってください!

○さて、広報広聴グループには、新たにCさんとHさんが仲間入りです。3人で力を合わせて頑張りますので、引き続きよろしく願います!

(M)

○昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くのイベントなどが中止となり、今年度こそ!と思っていたのでちょっぴり残念です。広報を担当した4年間は、市のできごとや魅力を広報紙に詰め込み、皆さんに伝えることができ、とても充実した日々でした。編集後記を書くのも最後かと思うと寂しいですが、実は何を書くのかと悩む月もいっぱいだったのはここだけの秘密です(笑)○これからはお客さんとしてイベントなどに参加すると思いますので、見かけた際にはぜひ、声をかけてください!!♡♡♡

Information



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

★一般図書★

『保健室から見える親が知らない子どもたち』 桑原 朱美
 『65歳からのお通じ快腸レシピ』 松枝 啓
 『小さい農業で暮らすコツ』新藤 洋一
 『緊急事態宣言の夜に』さだ まさし
 『階層樹海』 椎名 誠
 『俺と師匠とブルーボーイとストリッパー』 桜木 紫乃
 『いわいごと』 畠中 恵
 『湯どうふ牡丹雪』 山本 一力

★児童図書★

『5分でわかる友だち術』上條 正義
 『子どもへのハラスメント』喜多 明人
 『未来を変えるレストラン』小林 深雪
 『平和の女神さまへ 平和ってなんですか?』 小手鞠 るい

『へのへのカッパせんせい』 榎本 学
 『みんなとおなじくできないよ』 湯浅 正太
 『いぬとふるさと』 鈴木 邦弘
 『おおきいのちいさいの』 ふくだ じゅんこ
 『水がすきじゃなかったアヒル』 スティーブ スモール

★CD★

『ボクたちの電光石火』 GreeeeN
 『歌ってみた歌われてみた』 広瀬 香美
 『すっからかん』 瑛人
 『1ST』 Six TONES
 『笑顔で会える日のために』 辻井 伸行
 『エヴァーモア』 テイラー・スウィフト
 『ケロポンズの赤ちゃんあそび!』 ケロポンズ

2021.3.1現在
 ()対前月比

人口 24,456(-29)

男 12,191 女 12,265

出生 6 死亡 26

転入 47 転出 56

世帯数 9,249

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

文芸コーナー★

俳句

水野 信一 選

春袷街に溶け行く日を待てり

小針 久子(月次)

寝ころびて土筆と話す童かな

雪 幸子(南大和久)

麦踏やほどよき距離の老二人

塩野目洋子(初音)

野に出てソリストの如春の歌

高田 栄子(田野倉)

川柳

篠崎 酔月 選

福寿草コロナ禍知らず春を告げ

小堀 翠泉(中央)

商いは利益なければ命とり

川上美智男(大里)

大型店老舗の暖簾踏みじり

石川 義郎(興野)

笑顔売り暮らし支える小商い

森 豊(中山)

短歌

滝口 節子 選

妖怪が獲物を丸飲みするようなフォルムで並

ぶいちご大福 小池 千秋(小倉)

オンラインに慣れ飼猫を子どもらに見せたり

今日の「常磐津教室」 柳 つしま(中央)

春うらら娘に付き添われ久々に温き日を浴び

押し車おす 川手 トヨ(金井)

コロナ禍に杉の花粉に追い討ちをかけられこ

の春ダブルパンチに 安藤 伯麗(旭)

作品集募集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
 (〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
 1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

another school

another school アナザースクール 開校!
 歩塾と中村塾で新しい塾をつくりました。

「個別指導」と「少人数制授業」の2つのコースから選択できます!

【授業料】小・中学生: 6,600円~
 高校生: 8,000円~

入塾金ゼロ! 体験授業無料!

ご連絡はアナザースクールLineアカウントから!



おかげ様で38年!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険:自動車・火災・企業賠償(サイバー) 他

◇生命保険:新総合収入保障・新医療・ガン保険 他

◆お問合せ 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

TEL:0287-88-9870 FAX:0287-88-0234



卒業・卒園 おめでとうございます！

3月に入り、市内の小・中学校や幼稚園・保育園で卒業式・卒園式が行われ、恩師や保護者に見守られる中、希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。2つの中学校では3月11日(木)に198人が、5つの小学校では19日(金)に175人が卒業。また、幼稚園・保育園からも大勢の園児が卒園しました。

ここでは、いくつかの卒業式・卒園式の様子を紹介します。

①烏山中学校、②烏山みどり幼稚園、
③境小学校、④キッズランドあさひ、
⑤南那須中学校、⑥にこにこ保育園、
⑦江川小学校、⑧ゆうゆうランド那須烏山園、⑨烏山小学校



市営バスのバス停を リニューアルしました！

那須烏山市営バス全63箇所のバス停留所について新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、リニューアルしました。

今回の更新は、以前まで使用していたバス停が設置から20年以上経過し、停留所名の印字が薄れるなど劣化していたためです。

バス停には、本市のイメージキャラクターのほかに、烏山高部線は、常陸大宮市「ひたまるくん」、市塙黒田烏山線は、市貝町「サシバのサッチャー」、茂木町「ゆずも」といった共同運行している市町のイメージキャラクターも描かれています。

バス停には、バスの時刻表のほか、新型コロナウイルス感染症予防を呼びかけるチラシを掲示するなど感染対策に努めています。



◀ 烏山高部線のバス停



▶ 市塙黒田烏山線のバス停